

国有林野所在市町村の魅力紹介



宮城県刈田郡蔵王町

仙台森林管理署

蔵王町は宮城県南西部、霊峰蔵王連峰の麓にあり、四季の移り変わりを存分に堪能できる農業と観光業が盛んな町です。蔵王のシンボル「御釜」は約800年前の噴火でできた火口湖で、別名五色沼と呼ばれており天候によってエメラルドグリーンや瑠璃色に変化する水をたたえ、荒々しい火口壁との対比は神秘的で多くの方を魅了してきました。



蔵王のシンボル御釜

蔵王町の春は雪解けから始まり、例年4月上旬に開催される「雪の壁ウォーク」は蔵王エコーラインの道路両側にそびえ立つ10mの雪回廊を歩きます。桜の開花時期と重なるため、1日で雪見と花見が楽しめる格別な旅が味わえます。



蔵王エコーライン 雪の壁ウォーク

夏になると新緑が輝く季節になりドライブスポットとして多くの来訪者でにぎわいます。高山

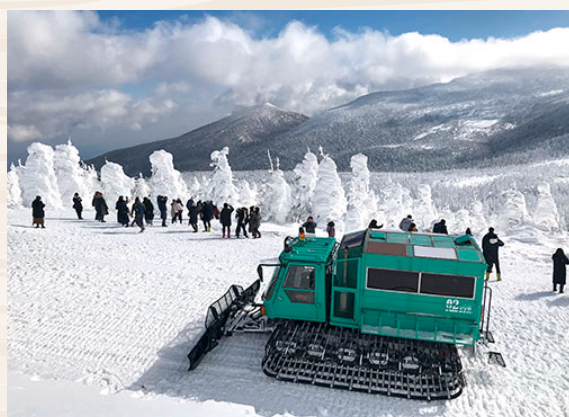
植物の女王「コマクサ」や「アサギマダラ」といった植物もみられる蔵王連峰では毎年山の日「ざおうさまトレッキング」が開かれ、100名以上の参加者が山を満喫しています。



令和3年度「ざおうさまトレッキング」

秋はナラやブナが黄色や赤に染まり紅葉狩りシーズンです。また、県内1位の生産量を誇る梨の最盛期となり、各農家の直売所ではみずみずしい梨の購入や梨狩りの体験ができます。

冬は「えぼしスキー場」と「すみかわスノーパーク」でウィンターシーズンがオープンし、スキーやスノーボードを楽しむ方でにぎわいます。日本三大樹氷原である蔵王の樹氷は雪上車の「ワイルドモンスター号」で向かう特別なツアーを開催しています。



雪上車で行く樹氷ツアー

蔵王町の四季折々の変化に富んだ観光資源は、自然環境が織りなす宝物です。近年、環境破壊が問題視される中、大切な資源を守り先人から受け継いだ宝物を次代に贈る活動に日々取り組んでいます。

問い合わせ先：蔵王町農林観光課 Tel.0224-33-2215